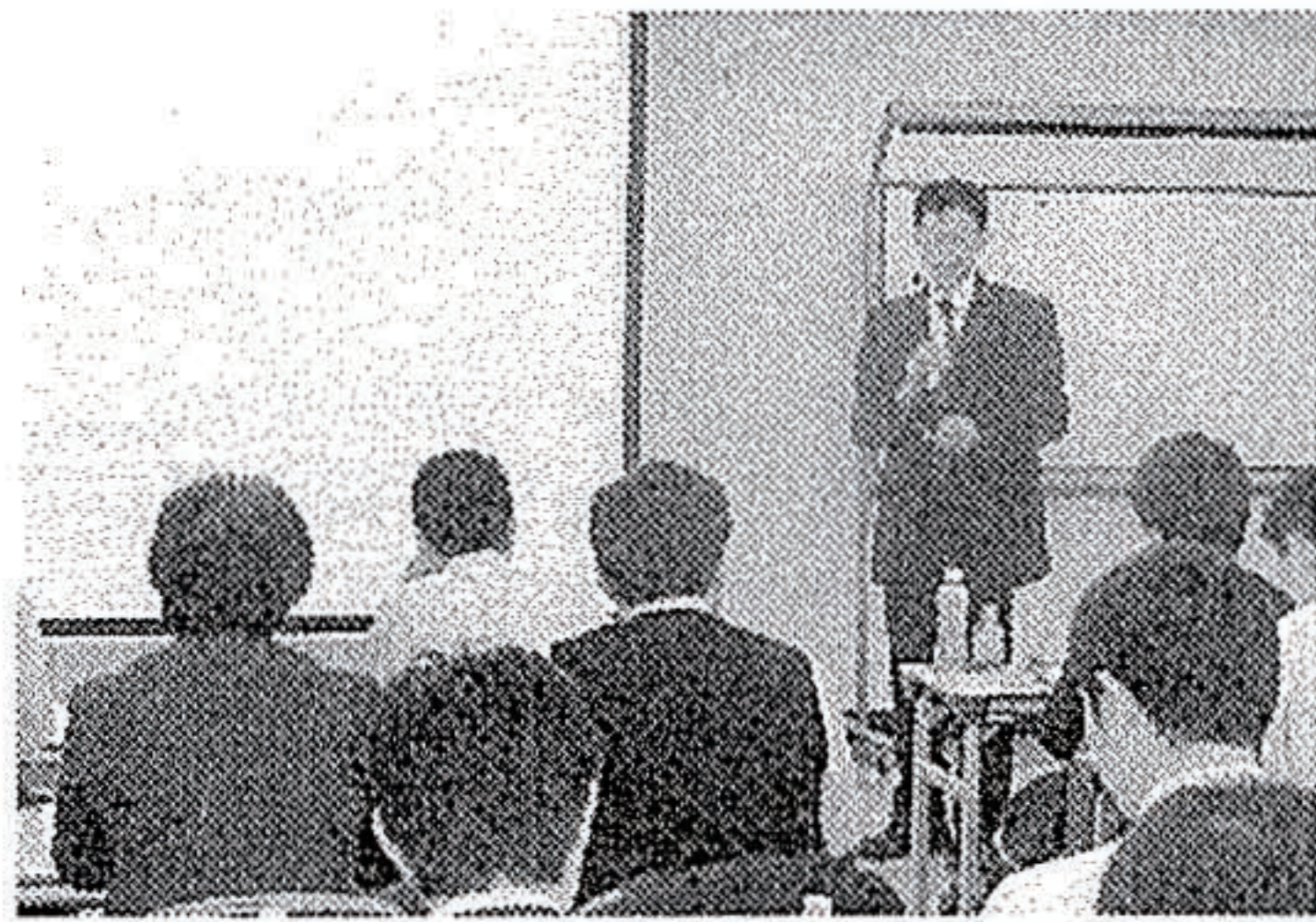


## JEITA、大阪でセミナー

### 電子機器装置の性能規格標準化

電子情報技術産業協会（JEITA）は26日、大阪市北区のJEITA関西支部でIEC SC48D国内委員会（委員長 杉浦伸明 IEC SC48D国際会議議長）主催のIEC



SC48D「電子機器装置、制御装置・制御盤の機械的構造寸法・性能規格標準化セミナー」写真を開いた。JEITA関西支部会員ら約50人が出席した。

電子機器装置や制御装置・制御盤用キャビネット／ラック、サブラック／シャーシの機構・構造ならびにその試験法の標準化作業を進めている国際電機標準会議（IEC）専門分科委員会SC48の活動内容、標準化技術の紹介、普及を図るセミナーで05年以来、東

京または大阪で毎年開催。今回は、IEC SC48D規格の概要、開発中のプロジェクトの状況、先月の12-14日米国シアトルであった会議の論議ポイント、標準化の最新動向などを紹介した。

セミナーを前に経済産業省情報電子標準化推進室の梅田英幸氏が「日本企業の不況要因にアジアや欧州の標準化に乗り切れていないことがある。標準化をベースにしたシステム化やグロ

ーバルな展開が重要になっている。標準化しない部分を見極めながら、どこを標準化していくかが大切だ。標準化は高度な知財戦略そのものだ。IEC SC48Dの活動を理解して、標準化を進めてもらいたい」とあいさつした。

セミナーでは杉浦国際会議議長が「IEC SC48Dの規格概要とその応用」、島田章夫SC48D国内委員会幹事WG2/4メンバー（シュロフ顧問）

が「Advanced TCA/μTCAの概要 今後の動向と期待」と題して講演した。

SC48DWG5メンバーの三菱電機情報ネットワークの高田潤二氏とNECエンジニアリングの黒木擁祐氏が「キャビネットの実践的熱設計と関連規格概要」、SC48WG2/MT6メンバーのNECの末光吾郎氏が「キャビネットの耐震試験、性能評価規格」について解説した。

平成22年11月29日付

電波新聞2面掲載 この掲載は電波新聞社の許可を得ています。